

令和6年度における主な事業

1 ごみ処理

ごみ減量啓発

令和6年度当初予算額 6,454千円

前年度比 (+150千円)

ごみの減量や資源化に対する市民の意識向上を図るため、環境カレンダーや資源・ごみ品目別一覧を作成・配付するとともに、ごみ分別アプリによる分別方法などの周知を行います。また、生ごみ減量講座や青空教室を開催するほか、生ごみの水切りの啓発や家庭用生ごみ処理機の購入費補助を行います。事業系ごみの減量を図るため、事業者向けに分別排出のパンフレットを作成し、配布します。

(担当：ごみ減量推進課)



青空教室

財源内訳

基金繰入金	12千円
一般財源	6,442千円

支出内訳

環境カレンダー等印刷費	4,800千円
家庭用生ごみ処理機購入費補助	1,200千円
ごみ分別アプリ「さんあ〜る」使用料等	454千円

リサイクルプラザ啓発

3,018千円

(△1,134千円)

ごみの減量や資源の再利用に関する情報を提供・発信し、資源循環型社会の形成に向けた効果的な啓発の活動拠点とするため、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）に関する講座・教室・展示や、再利用品（家具類、自転車）販売などを実施します。

(担当：クリーンセンター)



リサイクルプラザ（エコメッセ春日井）

財源内訳

手数料	5千円
一般財源	3,013千円

支出内訳

再利用家具類・自転車検査等手数料	1,245千円
講師等謝礼	757千円
再利用自転車整備業務委託	297千円
啓発用消耗品等	719千円

資源分別収集

562,401千円

(△5,523千円)

ごみの減量や資源化と安全で適正な処理を推進するため、発火性危険物等の資源の分別排出の啓発や分別収集を行うとともに、リチウムイオン電池等を内蔵した小型家電や微量の水銀を含む蛍光灯などの拠点回収を行います。

また、子ども会などの資源回収団体に対して収集量に応じた奨励金を交付します。

プラスチック製品の分別収集と資源化については、先進自治体等の情報収集を行います。

(担当：ごみ減量推進課)



資源分別収集

財源内訳

基金繰入金	10,783千円
一般財源	551,618千円

支出内訳

資源分別収集運搬業務等委託	557,685千円
資源回収団体奨励金	4,000千円
分別啓発用シール印刷費等	716千円

環境美化啓発

4,495千円

(△269千円)

ごみのポイ捨てやペットのふん害防止に対する市民の意識向上を図るため、区・町内会や各種団体と協働し、駅周辺や公園などでの街頭啓発、清掃活動を実施します。

また、クリーン大作戦など市民参加による地域の清掃活動を支援するほか、環境美化指導員による巡視、清掃活動を実施します。

(担当：ごみ減量推進課)



環境美化指導員による早朝啓発

財源内訳

一般財源	4,495千円
------	---------

支出内訳

ポイ捨てふん害防止啓発等消耗品	2,500千円
クリーン大作戦収集車両等使用料	845千円
車両燃料費	604千円
車両修繕料等	546千円

ごみステーション散乱防止

7,200千円

(+1,100千円)

衛生的で快適な生活環境を保つため、ごみステーションにおけるごみ散乱防止に有効な防鳥用ネットの無償貸与や、ごみボックス等ごみステーション整備用品設置費の一部を補助します。

(担当：清掃事業所)



ごみボックス

財源内訳

一般財源 7,200千円

支出内訳

防鳥用ネット等消耗品 6,000千円
ごみボックス等設置費補助 1,200千円

不法投棄防止

10,649千円

(△118千円)

不法投棄による交通の障害や環境悪化を未然に防ぐため、市内全域をパトロールし、啓発を行うとともに、不法投棄物の撤去を実施します。

また、多発する箇所では、警告看板や監視カメラの設置による再発防止を実施します。

(担当：清掃事業所)



不法投棄物の撤去

財源内訳

一般財源 10,649千円

支出内訳

不法投棄監視業務委託 8,000千円
燃料費 1,125千円
監視カメラ等修繕料 1,100千円
パトロール用消耗品等 424千円

動物死体処理

4,224千円

(+267千円)

市内の道路等で亡くなっている野生動物を収集するほか、市内で飼われていたペットが亡くなった場合に引き取ります。

収集した野生動物や引き取ったペットは、委託業者に引き渡して火葬します。

(担当：清掃事業所)



動物死体の収集

財源内訳

手数料	1,544千円
一般財源	2,680千円

支出内訳

運搬及び焼却処分業務等委託	3,762千円
燃料費	270千円
動物死体収集用消耗品等	192千円

ごみ収集車両整備

55,800千円

(+2,800千円)

ごみ収集車について、長期使用による老朽化に伴い、パッカー車4台やダンプ車1台を更新します。

(担当：清掃事業所)



パッカー車

財源内訳

国庫支出金	7,800千円
地方債	35,400千円
一般財源	12,600千円

支出内訳

パッカー車等	55,800千円
--------	----------

クリーンセンター施設再整備

4,768,954千円

(+3,714,161千円)

しゅん工から約20年が経過したクリーンセンター第2工場について、令和9年度から約25年間の長寿命化を図るよう、令和4年度から令和8年度までの継続事業により、焼却設備等の基幹的設備の改良工事を実施しています。

令和6年度は、主に3号炉の焼却炉本体やボイラ設備等の整備を実施します。

(担当：クリーンセンター)



クリーンセンター第2工場

財源内訳

国庫支出金	2,326,475千円
地方債	2,197,600千円
一般財源	244,879千円

支出内訳

基幹的設備改良工事	4,749,800千円
基幹的設備改良工事施工監理業務委託	18,500千円
工事衛生用具消耗品等	654千円

クリーンセンター小工事

615,000千円

(+354,400千円)

第2工場におけるリチウムイオン電池等により発生する火災の初期消火体制の強化を図るため、消火放水銃を自動式に更新します。

また、令和9年度から1工場体制となるクリーンセンターの不測の事態への対応を図るため、ゴミ搬出用設備を整備するほか、老朽化が進行している吸収式冷凍機などを更新します。

(担当：クリーンセンター)



消火放水銃

財源内訳

地方債	541,500千円
一般財源	73,500千円

支出内訳

消火設備設置工事	114,000千円
外部搬出用設備設置工事	25,000千円
吸収式冷凍機更新工事	145,000千円
粗大・不燃クレーン更新工事等	331,000千円

2 生活排水処理

合併処理浄化槽設置費補助

48,897千円

(△36,094千円)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、単独処理浄化槽や汲み取り便槽からの転換等で専用住宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対して補助します。

なお、令和6年度からは、法律で設置が義務付けられている新築住宅（建替え及び増改築を除く）への補助は廃止します。

（担当：環境保全課）



合併処理浄化槽

財源内訳

国庫支出金	24,435千円
県支出金	9,774千円
一般財源	14,688千円

支出内訳

合併処理浄化槽設置費補助等	48,897千円
---------------	----------

衛生プラント施設整備

1,023千円

(△10,977千円)

平成28年度から平成30年度にかけて施設の長寿命化を実施した衛生プラントは、令和15年度末に耐用年数を迎えます。令和16年度以降も安全・安心な処理を継続して実施できるよう、災害に強く、最適な次期衛生プラントの施設整備を目指し、費用対効果の分析を行います。

（担当：クリーンセンター）



衛生プラント

財源内訳

一般財源	1,023千円
------	---------

支出内訳

費用対効果分析業務委託	1,023千円
-------------	---------